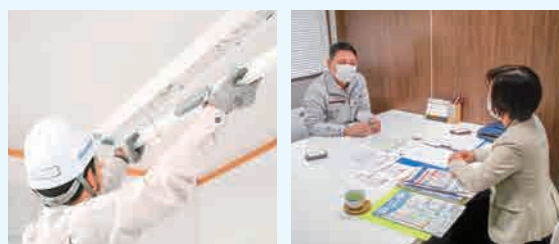


男性育休取得促進アドバイザー派遣

男女ともに仕事と子育ての両立ができる職場づくりを目指して企業にアドバイザーを派遣しています。

NO.3 (株)荒尾電工 電気工事業など



(株)荒尾電工は社員数10人程度と少数精鋭ながらも男性育休の取得促進に取り組んでいます。制度の理解を深めるために、社労士による制度や助成金の説明を受けました。「今の時代、夫の協力がないと子育ては難しい。男性社員が多いので、今後は社員説明会も行っていきたい」と元松社長は話しました。

☎ 総務課 男女共同参画推進室 ☎63-1139

3/17

肥後銀行100周年事業に伴い 桜樹木を寄贈

(株)肥後銀行荒尾支店 前田支店長(現・宇土支店長)より、肥後銀行100周年事業による「桜樹木」を寄贈いただきました。この事業は今年7月に100周年を迎える肥後銀行が、これまでの感謝とこれからの未来を創る地域価値提供の取り組みとして、熊本県内の市町村に桜の樹木を寄贈するものです。桜の木は、あらお海陽スマートタウン北側の住宅街区の公園に植樹しています。



2/22

人権の花咲くまちを目指して 人権問題講演会を開催しました

部落解放同盟熊本県連合会書記長の秦 竜也^{はた たつや}さんを講師に招いて人権問題講演会を開催。部落差別の現実と今後の課題、人権教育・啓発に期待することや、自分の生い立ちから部落差別の事例や法律、制度の流れなど具体的にわかりやすく話されました。参加者からは「学び続けるところが大切と思った」や「自分の言動、差別心を振り返ることができた」などの感想があり、とても学びのある講演となりました。



2/21

企業版ふるさと納税寄附金 贈呈式を開催しました

大牟田市に本社があり、食品の宅配業などを行う(有)有明乳業^{しもはら さゆり}より、企業版ふるさと納税の寄附がありました。下原 小百合^{あさだ}専務取締役は「近隣であり、以前から深い関わりがある荒尾市の健康に関する取り組みに協力させていただきたい」と話すと、浅田市長は「県境にかつての賑わいを取り戻すようなまちづくりのために大切にに使わせていただきたい」と、感謝状を贈りました。



3/8・9

中央公民館・働く女性の家 合同まつりを開催！ 2日間で計2,000人以上が来場し、とてもにぎわいました！

2日間に渡り、両館で活動するサークル生の発表を中心に、ワークショップ・食品販売などを行う合同まつりを開催しました。荒尾太鼓によるオープニングアトラクションでスタートし、サークル生発表では、息の合ったステージ発表と個性あふれる展示が来場者を魅了しました。キッチンカーによるコーヒーとホットドックの販売・市内就労継続支援事業所による軽食販売などもあり、多くの人が来場しました。天気にも恵まれ、公民館・働く女性の家の活動を知っていただく機会となりました。来場者からは「活き活きとした姿が素晴らしい」「芸術に触れることが

できて刺激になった」との声が聞けました。現在、公民館・働く女性の家では、幅広い年代のみなさんが体力アップのための運動教室や、作品作りの教室、絵画・書道教室など計85サークルで元気に活動しています。あなたの興味のあるサークルも見つかるかもしれません。ぜひ一度、活動をのぞいてみませんか。見学も可能ですので、いつでもお問合わせください。

中央公民館
ホームページ▶



働く女性の家・
サークル案内▶



ステージ発表



展示発表



ワークショップ(ミモザブーケづくり)

1/15

荒尾地区交通安全協会の 山口会長が緑十字銀章を受章

荒尾地区交通安全協会の山口 賢一^{やまぐち けんいち}会長が交通安全功労者として交通栄誉章「緑十字銀章」を受章しました。この表彰は長年の献身的な交通事故防止への活動により、特に顕著な功績があった者に授与されるものです。山口会長は受章にあたって「荒尾地区交通安全協会をはじめ荒尾警察署・荒尾市・長洲町、関係団体の多くの方のみなさまのご指導の賜物です」と感謝の言葉を述べました。



3/5

有明広域行政事務組合の 救急車への寄付がありました

「救急車の必要性を感じ貢献したい」と市内に住む前廣 基成^{まえひろ もとなり}さんより寄付の申し出があり、寄付金を高規格救急自動車(救急車)の購入費の一部に充てました。寄贈式では、同組合の代表理事から「期待に応えることができるよう、ますます精進します」と感謝状が贈られました。救急車は荒尾消防署に配備され、運用を開始しています。

